

トイレのお手入れ



トイレは、毎日使う場所です。
いつもきれいに使いたいですね。
便器は まめにトイレ用ブラシでこするのが一番です。
汚れが ひどくなる前に 手入れすれば、洗剤を使わなくてもキレイに
保つことができます。

汚してしまったら 各自が その場で そうじできるように トイレブラシ
と、トイレ用おそうじシートを 手にとりやすい 見える場所に 用意し
ておくのも いい考えだと思います。



●ちがう種類の洗剤は、混ぜないで!!

同じ場所で 2種類以上の洗剤を いっしょに使わないように 気をつけましょう。
たとえば、塩素系漂白剤と 酸性洗剤を 混ぜると 化学反応がおこり、塩素ガスが 発生して、とても危険
です。
どうしても ちがう洗剤を使いたいときは、その洗剤分を 水で よく洗い流してから、別の洗剤を使うようにし
てください。

★便器の内側

★便器の内側は、特に汚れやすいところです。⇒ 汚れがついたらその場でこすって落とす…習慣にしま
しょう。

★こびりついた汚れは 湿布法が 有効です

トイレットペーパーを汚れの上にのせ、トイレ用洗剤をかけて張りつ
けておきます。

洗剤が流れずによく浸透し、効果的です。しばらくそのままにして、汚
れがゆるんだら、ブラシでペーパーごとこすります。縁の裏側などは、
先に トイレットペーパーに 洗剤を含ませてから 詰めると いいでし
ょう。

★トイレ用洗剤のかわりにシャンプーを使うという人もいます。

汚れもよく落ちるし、なにより香りがいいのがメリットだそうです。旅行
をしたときなどに宿泊先から持ち帰ったり、試供品でもらうミニパック
のシャンプーで試してみてもいいのでは？



★便器の内側の 水が出る部分の 黒い汚れ

★こするだけで 通常は落とすことができます。

この汚れは ヌメリなどの水アカと カビが いっしょになったものです。
小さいタワシに柄がついている トイレ用ミニブラシや シューズブラシ
に水をつけてこすります。



★しつこい汚れは、ゴム手袋の上に軍手をはめた「手ぞうきん」で拭く



軍手に トイレ用洗剤を 直接つけて 便器をこすります。
軍手のかわりに 古靴下をはめ、使い捨てにするのも手です。
軍手手袋で ついでに 便器の下側やフタの部分、フロアなども、ついでにさわって こすっておくと、後のおそうじが簡単になります。
手にポリ袋などをかぶせ、絞ったストッキングに クリームクレンザーをつけてもよく取れます。

★本当に落ちない汚れ…の対策

割り箸に ポロ布を巻いて 輪ゴムでとめたものに、トイレ用洗剤をふりかけてこすると、手よりも 力が集中して 効果あり!!
古ハブラシに、クリームクレンザーか 粉末クレンザーをつけて ゴシゴシこすってもいいですよ。



★水位部分の輪になった カルシウム汚れ

便器の水がたまっている水面まわりに、輪のように ガンコにこびりついた尿石汚れは、なかなか落とすことができません。

★トイレ用酸性洗剤 または 漂白剤を しみこませた湿布を 便器内部に 貼りつける

便器の縁の裏側から、内側全面に トイレ用ペーパーを貼りつけ、トイレ用酸性洗剤 または 漂白剤を ふくませ、湿布します。
しばらくおいて 汚れを浮かせてから、ペーパーごと ブラシで こすって 洗い落とします。



★耐水サンドペーパーで こすり落とす

割りばしに、1000番の耐水サンドペーパーを巻きつけたものでこすり、汚れをこそげ取ると よく落ちます。
その後、1500番のサンドペーパーで、その部分をこすっておくと、仕上がりが なめらかです。

※ただし、便器に多少の傷がついてしまうので、これはあくまで最後の手段にしてください。

★水受け部分の汚れ

水が落ちる穴に ラップか、ビニールをあてて、上から ポロ布などを詰めて、きっちりと 穴をふさぎます。
そして、水受けの中に できれば 60~70°Cのお湯を入れて 漂白剤をとかし しばらくおいてから ブラシで こすります。



★こまかい部分の汚れ

★ペーパーホルダーのおそうじ



お掃除の前に ペーパーをはずしておきましょう。
ペーパーホルダーの本体と フタの間は、ホコリが たまりやすいところなので 細いブラシ・・・使い古しの歯ブラシなど・・・で かき出し、固く絞ったぞうきんで 全体をふくと きれいになります。

※便座裏の細い溝、便座とフタのジョイント部なども 細いブラシで 汚れをかき出すと きれいになります。